

令和4年度 当初予算(案)の概要

「動」き出す！ 未来へ続く好循環



三木市 Miki City

1. 予算規模

☆ 一般会計予算は、前年度より9.5億円増加の343億8,000万円で、過去最大

☆ 全会計の予算規模は、前年度より約10億円(1.8%)の増加

(単位:千円)

		令和4年度当初予算(案)		令和3年度当初予算		対前年度比(歳出)	
		歳入	歳出(A)	歳入	歳出(B)	増減額(C) (A-B)	増減率 (C/B)
一般会計		34,380,000	34,380,000	33,430,000	33,430,000	950,000	2.8%
特別会計	国民健康保険特別会計	9,020,000	9,020,000	9,345,000	9,345,000	△ 325,000	△ 3.5%
	介護保険特別会計	7,303,000	7,303,000	7,046,000	7,046,000	257,000	3.6%
	後期高齢者医療事業特別会計	1,526,000	1,526,000	1,504,000	1,504,000	22,000	1.5%
	学校給食事業特別会計	278,000	278,000	280,000	280,000	△ 2,000	△ 0.7%
企業会計	水道事業会計	2,034,875	2,439,151	2,087,536	2,331,102	108,049	4.6%
	収益的収支	1,920,928	1,779,579	1,894,141	1,799,274	△ 19,695	△ 1.1%
	資本的収支	113,947	659,572	193,395	531,828	127,744	24.0%
	下水道事業会計	4,145,799	5,161,808	4,226,558	5,125,490	36,318	0.7%
	収益的収支	2,533,439	2,470,214	2,543,971	2,503,892	△ 33,678	△ 1.3%
	資本的収支	1,612,360	2,691,594	1,682,587	2,621,598	69,996	2.7%
合 計		58,687,674	60,107,959	57,919,094	59,061,592	1,046,367	1.8%

2. 一般会計予算の特徴

～ 「動」き出す！ 未来へ続く好循環 ～

20年、30年先の三木市の未来を見据え、人口減少社会に対応したまちづくりと、「子ども・子育て世代が住みたくなるまち」の実現に向けた積極的な施策推進との両輪で市政運営を行います。

これまでの4年間の市政で種を撒き、芽を吹かせてきた「教育」、「移住・定住」、「雇用」、「三木ブランド」をキーワードとした「三木創生」への取組について、市民の皆さまに、市政が実際に動いていることを実感していただけるまちづくりを進めます。

教育のまち「三木モデル」の構築へ、動く

- 未来を創る学力の育成「三木モデル」の推進
- 市内全校で小中一貫教育を推進
- 高校生までの医療費の無償化(入院)
- 子ども食堂の支援拡充、
生活困窮世帯の子どもへの
学習支援



三木ブランドの更なる向上へ、動く

- 道の駅みきに金物鷲を常設展示
- 三木金物ブランド戦略の推進(海外展示会への出展支援)
- 山田錦の郷活性化の推進
- 中心経営体、人・農地プラン作成相談員の配置
- 春高・春中ゴルフ、レディースゴルフ
トーナメントの開催
- スナッグゴルフJGTOカップの開催

定住促進や雇用の確保に、動く

- ひょうご情報公園都市次期工区の県市共同開発の促進
- 結婚新生活支援の拡充(最大100万円)
- 青山7丁目団地
再耕プロジェクト
の推進



三木の未来を守るため、動く

- 財政の健全化(国民健康保険特別会計を含む)
- ふるさと納税の推進
(企業版を含む)
- 公共施設再配置計画の推進



3. 一般会計予算（目的別）

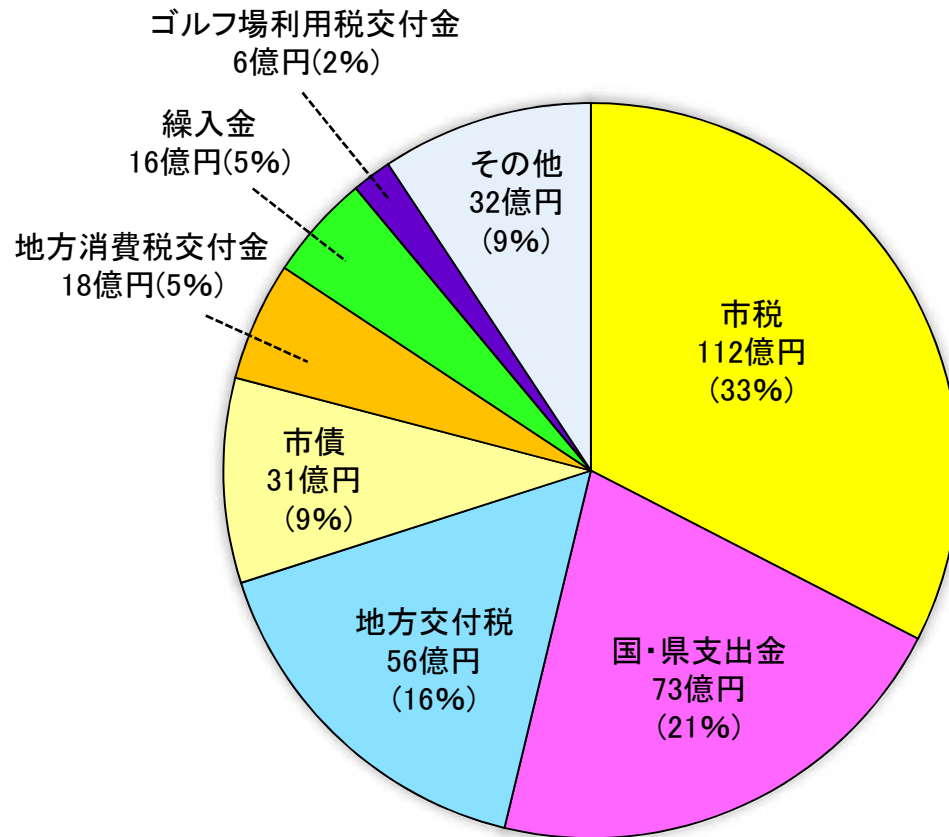
- ☆ 総務費(42.9億円)は、ふるさと納税返礼品や青山7丁目整備に係る費用などで、前年度比4.7億円(12.3%)増
- ☆ 農林業費(7.8億円)は、農業生産者経営継続支援金の交付などで、前年度比1.1億円(16.4%)増
- ☆ 消防費(10.0億円)は、高規格救急自動車の更新費用などで、前年度比0.5億円(5.3%)増

目的	令和4年度 当初予算(案)	令和3年度 当初予算	増減額	増減率	主な増減要因
総務費	42.9億円	38.2億円	4.7億円	12.3%	ふるさと納税返礼品や青山7丁目整備に係る費用などの増
民生費	126.8億円	123.4億円	3.4億円	2.8%	こども園給付費や障害福祉サービス給付費等の増
衛生費	25.0億円	24.1億円	0.9億円	3.5%	次期ごみ処理施設整備事業などの増
農林業費	7.8億円	6.7億円	1.1億円	17.4%	農業生産者経営継続支援金などの増
商工費	12.2億円	12.7億円	△ 0.5億円	△ 4.2%	よかたん井戸掘削事業や企業誘致助成金の減
土木費	19.2億円	21.8億円	△ 2.6億円	△ 11.9%	国補助金活用のために事業を令和3年度(3月補正)に前倒ししたことなどによる減
消防費	10.0億円	9.5億円	0.5億円	4.7%	高規格救急自動車の更新費用などの増
教育費	31.5億円	31.0億円	0.5億円	1.6%	青山公民館の中規模改修費用などの増
公債費	46.6億円	44.5億円	2.1億円	4.7%	借換債(7.3億円→10.2億円)の増など
諸支出金	17.7億円	17.8億円	△ 0.1億円	△ 0.7%	
その他	4.1億円	4.6億円	△ 0.5億円	△ 8.8%	勤労者福祉センターの改修工事などの減
合計	343.8億円	334.3億円	9.5億円	2.8%	

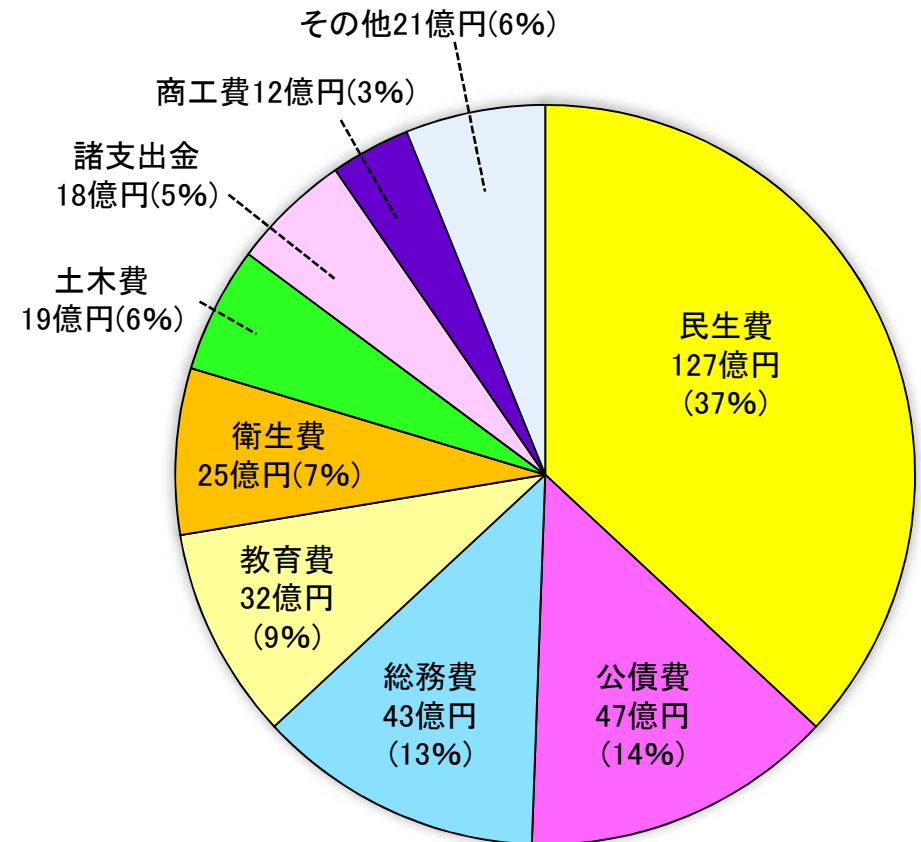
※ 増減率は、千円単位の額で比較

4. 一般会計予算 (内訳)

歳入(約344億円)



歳出(約344億円)



5. 特別会計

国民健康保険

90億2,000万円（前年度比 Δ 3億2,500万円、 Δ 3.5%）

- ☆ 40歳以上の特定健診受診料を無料化
- ☆ 国保財政健全化計画に基づき保険税率を改定
- ☆ 加入者の減少による保険給付費の減や、納付金の減少による歳出減

介護保険

73億 300万円（前年度比 $+$ 2億5,700万円、 $+$ 3.6%）

- ☆ 第8期介護保険事業計画(R3年度から3年間)の2年目で、認知症施策や、フレイル予防・介護予防などを推進
- ☆ 介護保険の剰余金を活用し、県内29市で最も安い介護保険料を継続実施
- ☆ 成年後見制度の報酬助成対象者を拡充

後期高齢者医療事業

15億2,600万円（前年度比 $+$ 2,200万円、 $+$ 1.5%）

- ☆ 2年ごとの見直しによる保険料率の引き下げ(Δ 3.92%)
- ☆ 令和4年10月から、一定以上の所得者は窓口負担が1割から2割に引き上げ

学校給食事業

2億7,800万円（前年度比 Δ 200万円、 Δ 0.7%）

- ☆ 児童・生徒数の減少にともない歳入・歳出ともに減
- ☆ 食材費が増加傾向のため、財政調整基金からの繰入金を増額し、給食費を据え置き

特別会計予算総額

令和4年度	令和3年度	対前年度	
		増減額	増減比
181.2億円	181.7億円	Δ 0.5億円	Δ 0.3%

6. 企業会計

安心しておいしく飲める水道水を安定して供給するとともに、河川や水路の水質を保全していきます。

水道事業

24億3,915万円 (前年度比 +1億805万円、+4.6%)

- ◆ 主要管路を更新し耐震化を推進
- ◆ 大二谷配水池の改修
- ◆ 配水池ポンプ場等の水道施設の運転管理
- ◆ 自己水源である深井戸の適切な維持管理
- ◆ 配水・給水施設の適切な維持管理
- ◆ 県営水道の受水

下水道事業

51億6,181万円 (前年度比 +3,632万円、+0.7%)

- ◆ 下水道管及びマンホール蓋の長寿命化
- ◆ 吉川浄化センターの長寿命化及び適切な管理運営
- ◆ 農業集落排水施設の適切な管理運営
- ◆ 下水道処理施設の浸水対策
- ◆ 加古川上流流域下水道負担金
- ◆ マンホール点検・管渠調査

企業会計予算総額

令和4年度	令和3年度	対前年度	
		増減額	増減比
76.0億円	74.6億円	+1.4億円	+1.9%